

取り付けできない天井・配線器具 ※照明の形状はイメージです。

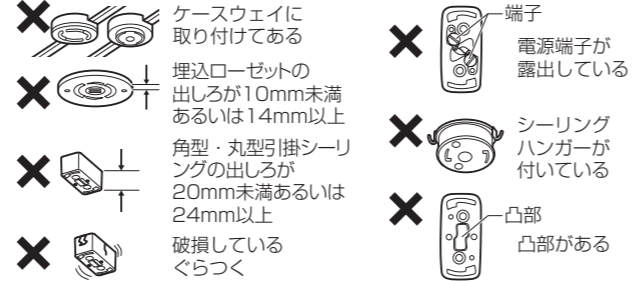
次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



次のような配線器具には取り付けない

火災や感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事に依頼してください。(配線器具の交換は資格が必要です)

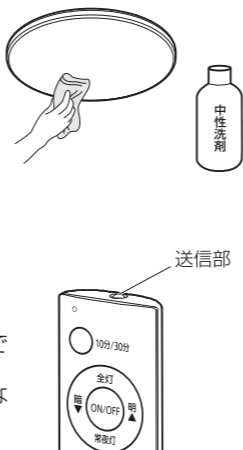


お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃をおすすめします。

警告	●必ず壁スイッチをOFF(切)にするか、電源を遮断してください。感電の原因となります。 ●消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃してください。
注意	●絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

1. 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る
2. 汚れが落ちたことを確認後、洗剤分を拭き取る
水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。
3. 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る



- リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。

故障かな?と思ったら 使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状態	考えられる理由	処置
リモコンで照明器具が操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない。	「チャンネル切り替えについて」を参照し、チャンネルを合わせてください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
壁スイッチをONにしても点灯しない	照明器具が「消灯」状態になっている。	「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。
操作していないのに明かりがついたり、変わったりする	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります。	ご使用にならない時は、壁スイッチをOFFにしてください。 「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店、またはアイリスコールへお問い合わせください。

警告 ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

品番	本体サイズ	本体質量	本体色	電源	消費電力	全光束	演色性
OBB-CL0648D	約φ480×103(H)mm	約1.0kg	ホワイト	AC100V 50Hz/60Hz	22.0W	3300lm	Ra85
OBB-CL0848D					26.5W	4000lm	

※光束維持時間は40,000時間です。光束維持時間とは、全光束が70%に低下するまでの時間を推定したものです。表示は設計時間であり、製品の寿命を保証するものではありません。

※仕様および外観は改良の為に予告なく変更する場合があります。

【製造元】

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

修理に関するお問い合わせ(通話料無料)

アイリスコール 0120-311-564 (修理専用コール) **0800-170-7070**

9:00~17:00(年末年始・会社都合による休日を除く) 9:00~17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモをご用意をお願いします。

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



ORIGINAL BASIC

調光機能付きLEDシーリングライト
OBB-CL0648D/OBB-CL0848D
取扱説明書

家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

安全上の注意

安全にご使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

図記号の意味

注意を促す記号です。

禁止を示す記号です。

必ず行うことを示す記号です。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

禁止

改造や、部品交換をしない
落下・感電・火災などの原因になります。

調光器を使用しない
破損や発煙の原因になります。

可燃物を覆わない
可燃物を被せたり、近づけたりしない
火災の原因になります。

取り付けできない天井・配線器具に取り付けけない
「取り付けできない天井・配線器具」に記載された場所や配線器具には取り付けないでください。落下・感電・火災などの原因になります。

必ず実施

取り付けは確実に
落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に取り付けてください。

異常を感じたら速やかに電源を切る
すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

交流100Vで使用する
火災・感電のおそれがありますので、定格電圧以外では使用しないでください。

清掃・取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る
感電の原因になります。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害の発生が想定される内容を示しています。

禁止

LED光源を直視しない
目を傷める原因になることがあります。

点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない
やけどの原因になることがあります。

破損した場合は使用しない
落下してけがの原因になります。
破損した場合は修理を依頼してください。

温度の高い場所で使用しない
火災の原因になります。

屋外や湿気が多い場所で使用しない
故障や感電の原因になります。

水洗いしない
火災・感電の原因になります。
「お手入れについて」を参照し、水につけたり、水をかけたりしないで清掃してください。

薬品を使用しない
変形・火災の原因になります。
殺虫剤・かび取り剤などをかけないでください。

必ず実施

1年に1回は自主点検を実施する
長期間の使用による発煙・発火・感電などの事故を防ぐため、保証書の「安全チェックシート」を参照し、定期点検を実施してください。設置後8~10年経つと、自然に内部劣化が進みます。
※参考使用条件:周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。(JIS C8105-1解説による)

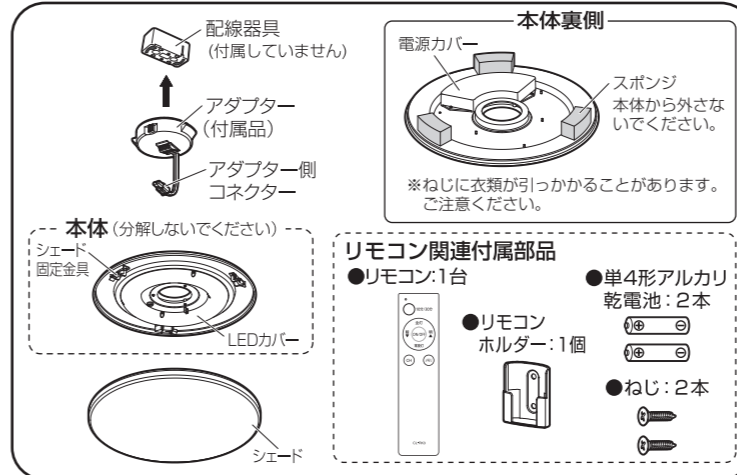
ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらないことがあります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器(テレビなど)には使用できません。
- 本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが反応しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入る場合があります。
- 照射距離が近い場合、照射面で光むらができる場合があります。

- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。長期間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- LED照明は、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せずにごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあります。
- 充電電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- エアコン吹き出し口近くへの設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

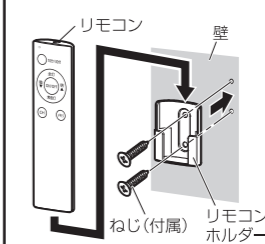
各部の名称

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。



リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。※収納した状態では操作しないでください。



乾電池の入れかた

- 1 矢印の方向にカバーを動かす。
- 2 表示に合わせて④⑤を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める

- 電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用したときで約1年です。付属の電池は動作確認用であり、上記より早く消耗する場合があります。
- 電池を交換するときは、2本とも新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。
- 新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しない場合は電池を取り出して保管してください。

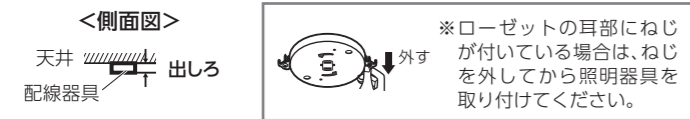
取り付け

- 警告** ●取り付けは、必ず電源を遮断してから行ってください。
- 注意** ●高所での作業になります。必ず足元の安全を確認してから行ってください。

1. 天井についている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法と形状を確認する

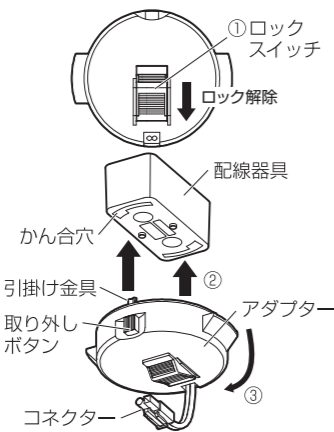
※下図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。電気店、または工事に依頼してください。
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出し	20mm以上 24mm未満	10mm以上 14mm未満
形状	角型引掛シーリング 丸型引掛シーリング フル引掛ローゼット 丸型フル引掛シーリング	埋込引掛ローゼット 埋込ローゼット(耳つき) 埋込ローゼット(耳なし)



2. アダプターを取り付ける

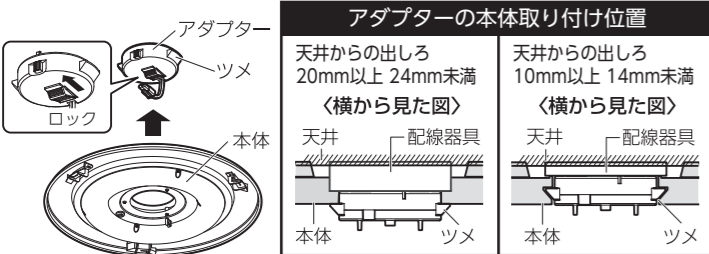
- アダプターのロックスイッチのロックを解除する。
- 配線器具のかん合穴にアダプターの引掛け金具を差し込む。
- アダプターを右に「カチッ」と音が出るまで回す。
- アダプターを取り付けた後、取り外しボタンを押さず左に回し、外れないことを確認する。



- 警告** ●アダプターは確実に取り付けてください。落下するおそれがあります。

3. 本体を取り付ける

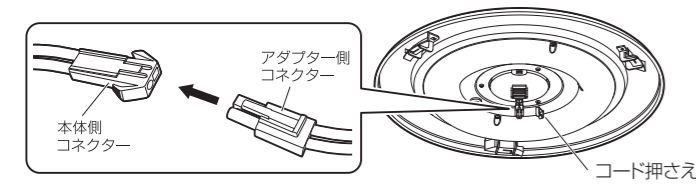
本体をアダプターのツメに「カチッ」と音が出るまで押し上げ、ロックスイッチをロックしてください。



- 警告** ●配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の出し方によってアダプターの本体取り付け位置が異なります。本体をアダプターのツメに「カチッ」と音が出るまで確実に押し上げてください。落下によるおそれがあります。
- ロックスイッチを必ずロック位置にしてください。落下によるおそれがあります。

4. コネクターを接続する

アダプター側コネクターを本体側コネクターに差し込み、アダプター側コネクターのコードをコード押さえで固定してください。
※コードは、たわんで浮かないように固定してください。

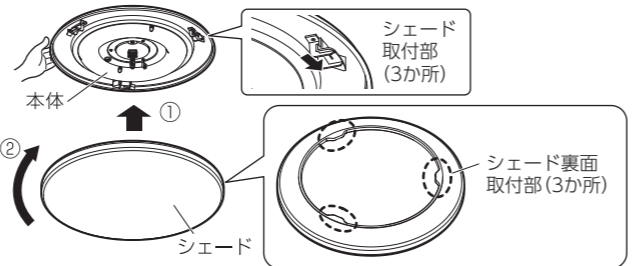


本体が下記の状態の場合は正しく取り付けられていないため、もう一度確認してください。



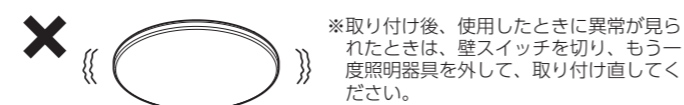
5. シェードを取り付ける

シェード裏面の取付部を本体のシェード取付部の間に入るように合わせ、本体を手で支えながらシェードを時計回りに止まるまで回して確実に取り付けてください。



- 警告** ●シェードは回転が止まるまで確実に回して取り付けしてください。落下によるおそれがあります。
- 注意** ●シェードを必要以上に回転させないでください。引掛けシーリングやローゼットも回転し、破損や断線の原因になります。

照明器具がぐらついていたり、傾いたりしているときは正しく取り付けられていません。もう一度取り付け直してください。

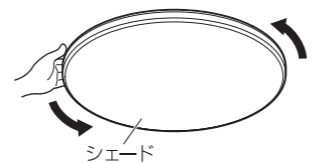


取り外し

- 警告** ●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
- 消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

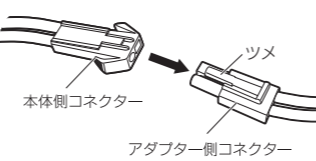
1. シェードを取り外す

本体を手で支えながらシェードの外周部を持って、反時計回りに回して本体から取り外してください。



2. コネクターを外す

アダプター側コネクターのツメを押しながら、本体側コネクターから引いて外してください。



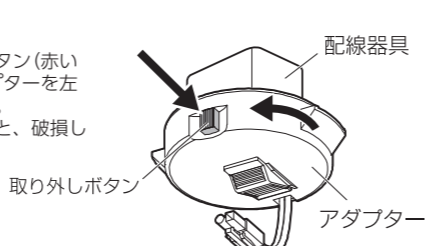
3. 本体を取り外す

本体を支え、アダプターのロックスイッチのロックを解除しながら本体を取り外してください。



4. アダプターを外す

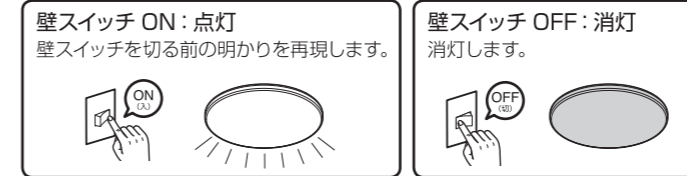
アダプター側面の取り外しボタン(赤いボタン)を押しながら、アダプターを左に回して取り外してください。
※ボタンを押さずに強く押しすと、破損します。



明かりをつける

壁スイッチで操作する

壁スイッチで明かりをつける



ご注意

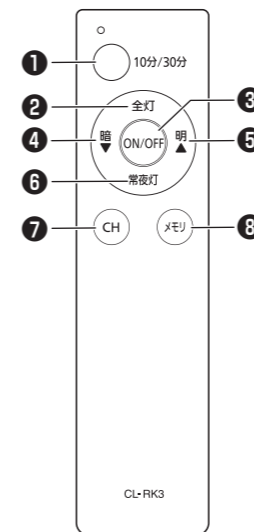
壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。

リモコンで操作する

①壁スイッチを「ON」にする



②リモコンを本体に向けてボタンを操作する



■タイマーで消灯させる

- 10分/30分ボタン
使いかたは「おやすみタイマーを使う」を参照してください。

■明かりをつける

- 全灯ボタン
ボタンを押すと100%の明るさで点灯させます。
- ON/OFFボタン
リモコンで消灯させる前の明かりを点灯させたり、消灯させたりします。
- 常夜灯ボタン
常夜灯を点灯させたり、消灯させたりします。
- CH(チャンネル)ボタン
ボタンの長押しでチャンネルを変更させます。変更されると「ピッ」または「ビッ」と音がなります。
※出荷時はCH1に設定されています。

■色・明るさを変える

- シーリングライトの明るさを調節します。(調光10段階)
- 調光ボタン[暗]
明かりを1段階暗くします。また、消灯状態でボタンを押すと点灯させることができます。
 - 調光ボタン[明]
明かりを1段階明るくします。また、消灯状態でボタンを押すと点灯させることができます。
 - メモリボタン
ボタンの長押しで設定した明るさを記憶させます。記憶すると「ピッ」と音がなります。ボタンを押すと設定した明るさで点灯させます。
※出荷時は全灯の約50%の明るさで設定されています。

- 警告** ●メモリ設定して10秒以上経たないと新たなメモリ設定はできません。

おやすみタイマーを使う

設定時間10分または30分で消灯します。

おやすみタイマーの設定と解除
(設定は、最初の「ピッ」音がなってから5秒以内に行ってください。)

- 10分/30分 押す
- ・1回目 → 「ピッ」 → タイマー10分
- ・2回目 → 「ビッ」 → タイマー30分
- ・3回目 → 「ピーッ」 → タイマー解除*

※おやすみタイマーの解除方法

- 設定と同様に、続けて3回、10分/30分ボタンを押してください。
- 10分/30分ボタン以外のボタンを押しても、おやすみタイマーは解除されません。

ご注意

- 設定後、他の明かりにする場合、おやすみタイマーを解除してから行ってください。
- おやすみタイマーで消灯した場合、再点灯させるには、リモコンで点灯させるか、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えて点灯させてください。

チャンネル切り替えについて

壁スイッチがあるときは、ON(入)になっていることを確認してから操作してください。

リモコンを照明器具に向けてCHボタンを5秒長押ししてチャンネルを切り替えてください。チャンネルが切り替わると照明器具から「ピッ」または「ビッ」と音が鳴ります。リモコンのボタン(ON/OFFなど)を押し、操作ができることを確認してください。操作できない場合は再度チャンネル切り替えを行ってください。
※出荷時はCH1に設定されています。

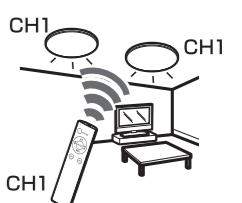
ご注意

リモコンの乾電池を交換するとチャンネル設定がリセットされます。CHボタンを5秒長押ししてチャンネル設定を行ってください。



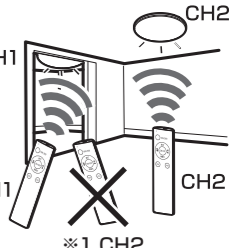
●複数の照明器具を1つのリモコンで操作する場合

隣接する照明器具を同じチャンネルに設定します。
※照明器具の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。



●近くの照明器具を別々のリモコンで操作する場合

隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することで、それぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。



ご注意

- ※1 照明器具が異なるチャンネル信号を受けると、照明器具のチャンネル設定が変わります。設定時のリモコンは、設定したい照明器具だけにしてください。
- ※2 個別の壁スイッチがあれば片方をOFF(切)にしたり、間に扉があれば扉を閉めるなどすると効果的です。